

“春の妖精”登場！

暖かい春の日差しを浴びてカタクリの花が開花しました。紅紫色の花びらが空に向かってくるりと反り返り、うつむいて咲く姿はかれんで美しく、まさしく「春の妖精」です。

幅3～7cmほどの楕円形の2枚の葉には暗紫色のまだら模様があり、中心から10cmぐらいの茎を伸ばし、先端に一輪だけ花を咲かせます。花は日が当たっていると反り返り開き、雨や曇りの日は閉じたままです。天気の良い日は、昆虫も姿を現さず受粉できないので、無駄に開花しないのです。省エネ機能がもともと備わっているのです。

また、開花期間は2週間ほどで、やがて茎も葉も枯れてなくなってしまいます。カタクリが地上に姿を現している期間は、たった1カ月ほどしかありません。こんな短期間なのに、しっかり受粉をして次の命をつなぎ、光合成をして来年の春にかわいらしい花を咲かせるためのエネルギーを鱗茎^{りんけい}に蓄積するのです。

自然の仕組みには、いつも驚かされます！



森の日記

3月4日(日) シイタケ教室

春の暖かな日差しの中、恒例の「シイタケ教室」が行われ、市内を中心に遠くは名古屋市などから約30人の家族連れが参加しました。

施設長の軽妙なレクチャーを聞き終えると、いよいよシイタケの菌打ちに挑戦！電動ドリルによる原木の穴あけはパパやママが担当し、駒菌打ちでは、カナヅチトントンとちびっ子たちが大活躍でした。家族みんなでお楽しみましたね。

1年半～2年後には、おいしそうなシイタケがニョキニョキ出るぞ！楽しみです！



教室のご案内

4月

ギフチョウ観察会 (自由参加)

4月8日(日) 午前9時～11時30分

羽化したギフチョウを放ち、観察します。

ヒツジの毛刈り

4月16日(月) 午前10時～11時30分

6頭のヒツジの毛刈りをします。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

4月22日(日) 午前9時～11時30分

春の野鳥を観察します。

5月

陶史の森写生会 (要申込、雨天中止)

5月3日(木・祝)・4日(金・祝) 午前9時～午後3時

対象は、保育・幼稚園児、小学生です。作品

はネイチャーセンターに展示し、入賞者には賞状・賞品があります。

※画用紙と画板は用意します。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

5月27日(日) 午前9時～11時30分

春の野鳥を観察します。

